

+++++

「植物と人々の博物館メルマガ」 第6号 2015年10月17日発行

+++++

小菅村ではもう初霜があったようです。小金井から見える富士山も冠雪しました。秋も深まり、すぐに冬支度ですね。雑穀類は刈り取りが済み、これからオオムギをまきます。会員および配信を希望される方に公開活動ニュースなどをお送りします。ご関心のあるご友人に転送などでご紹介いただき、信頼の「ロコミ」で広報していただけると嬉しいです。連絡先は下記メールアドレスです。

## 1. 日本村塾 Nihonmura College for Environmental Studies

伝統知を学び合うことで、「素のままの美しい暮らし」( Sobibo ) を勧める。

参加希望者は木俣にメールください。 kimatami@u-gakugei.ac.jp

予定：

### 1) 自給農耕ゼミ第3回

日時： 11月8日(日)、場所：神奈川県相模原市、藤野倶楽部、結びの家。

内容：収穫した雑穀の料理教室。

連携企画予定：高橋靖典さんの「暮らしを自分の手に取り戻す」。

### 2) 民族植物学ゼミ第2回、扶桑くにゼミ第3回

日時・場所：12月か来年2月予定、読書会。

推薦図書：『シャーマンの弟子になった民族植物学者の話』、上 2200円、下 1800円、マーク・プロトキン著、築地書館。

『銃・病原菌・鉄』、上 1900円、下 1900円、ジャッレド・ダイヤモンド著、草思社、ほか検討中。

ご意見があれば、お知らせください。

## 2. 道の駅小菅で展示中 「雑穀街道」

村人からはとても好評です。観光客も見てくださっているようです。

日時： 9月1日～10月30日

内容： 雑穀をモチーフにしたテキスタイル、種子とその解説、雑穀街道の現代史「古守豊甫医師らによる長寿村桐原調査から、現在のエコミュージアム日本村づくりまで」など。

### 3. 環境学習セミナー ご関心のある方はどなたでも参加歓迎です

#### 1) 第 36 回環境学習セミナー（再掲）

持続可能な地域社会の再検討～『明日の小菅村を探る』～

過疎高齢化や限界集落など悲観的な用語が世間を飛び交う中で、日本の山村は多くの課題を抱えながらも、

素のままの美しい暮らしを、今に継承してきた。源流の郷（日本小菅村発）、エコミュージアム（フランス発）、

トランジション・タウン（イギリス発）、美しい村連合（フランス発）の4つの代表的事例からその活動経験を学び、

地方消滅論を再検討し、これを克服する方策を探る。現在、人口 700 人余の小菅村でも、源流の郷やエコミュージアム日本村など、

以前から多く村づくりの取り組みがなされている。これらの経験を自ら学び直し、また、他村の経験をともに学ぶためのセミナーにしたい。

日時：2015 年 11 月 14 日（土）～ 15 日（日）

場所：山梨県小菅村 役場および中央公民館

参加費：資料代など 3,000 円、懇親会参加費 3,000 円、体験参加費 500 円、宿泊（1 泊朝食）6,000 円

連絡問合先：NPO 法人自然文化誌研究会 事務局 黒澤友彦

e-メール npo-inch@wine.plala.or.jp Tel/Fax: 0428-87-0165 携帯 090-3334-5328

主催：NPO 法人自然文化誌研究会、エコミュージアム日本村／ミューゼス研究会

共催：NPO 法人 ECOPLUS、協力：東京学芸大学環境教育研究センター、後援：小菅村、トランジション・ジャパン

#### 【プログラム】

11 月 14 日（土） 『明日の小菅村を探る』～持続可能な地域社会の再検討～

昼の部～会場は小菅村役場新庁舎

12:30 ～ 受け付け開始 小菅村役場新庁舎

13:00 ～ 13:20 趣旨案内と挨拶 青柳諭（ミューゼス研究会代表）

13:20 ～ 13:50 源流の郷小菅村 佐藤英敏（小菅村教育長）

13:50 ～ 14:20 全国のトランジション・タウン活動と藤野の例

小山宮佳江（NPO 法人トランジション・ジャパン共同代表）

14:20 ～ 14:30 休憩

14:30 ～ 15:00 「日本で最も美しい村」連合が目指す地域社会の未来

杉一浩（NPO 法人「日本で最も美しい村」連合 常務理事）

15:00 ~ 15:30 講演 地方消滅論の再検討 山下祐介（首都大学准教授）  
15:30 ~ 15:40 休憩  
15:40 ~ 16:30 質疑応答など  
16:30 ~ 16:45 まとめ 木俣美樹男（東京学芸大学名誉教授）  
夜の部の会場は小菅村中央公民館、植物と人々の博物館の展示案内。  
18:30 ~ 20:30 懇親会（フリートーク・立食、宿はR & B）  
歓迎の挨拶 船木直美（小菅村村長）

11月15日（日） 『小菅村を楽しむ』

トレイルマップがあるので、希望者は各自で散策できます。

9:00 ~ 集合・説明  
9:30 ~ 11:30 体験へ出発 <

◆ こんにやく体験と掛け軸畑（橋立地区：木下新造）

◆ 養殖業と天神山（川池地区：小菅一芳）

11:30 そのまま集合せずに解散、昼食は各自で。

---

## 2) 第35回環境学習セミナーの報告

「環境学習の源流から未来へ」と題して、自然文化誌研究会冒険探検部創設40年を振り返り、近未来について語り合いました。

遠くは長崎、兵庫、大阪、長野他、関東地方から30名ほどが参加しました。

これを機に、『冒険と子どもたち-冒険学校のあゆみ』も出版されました。希望者に差し上げます。

翌日のINCH祭りにも30名ほどが参加し、深まりゆく秋を楽しみました。

## 4. 雑穀見本園の生育状況など

1) 雑穀栽培見本園のキビは黒澤さんが9月初めに収穫、アワは10月14日に収穫しました。

2) 道の駅小菅駐車場わきの雑穀見本園の7種の雑穀は道の駅の展示終了に合わせて、10月30日に収穫します。

3) オオムギは10月19日に播種します。

## 5. 民族植物学ノオト

第8号を希望者に差し上げます。第9号雑穀特集英文は編集中です。

第10号は2016年3月頃締切で原稿を募集します。送付先住所を添えて、

e-メールなどで木俣までお申し込みください。

バックナンバーは下記の HP 植物と人々の博物館（ミュージアムグッズ）で読めます。

## 6) 森とむらの図書室の蔵書

藤野倶楽部内に分室を置き、所蔵の原沢文庫を移動して、トランジション・タウン藤野／お百姓クラブほかに、

日本村塾／自給農耕ゼミに合わせて活用していただきます。

この蔵書は、東京学芸大学の故原沢伊世夫教授のご家族から寄贈されました。農林業関係の図書、特に植物病理学、

農業教育や日本各地の植物誌が含まれています。分室をご用意くださる藤野倶楽部の桑原敏勝代表のご厚意に感謝します。

.....  
植物と人々の博物館は、山梨県小菅村で行っているエコミュージアム日本村（トランジション小菅）のコア博物館です。

これは NPO 自然文化誌研究会のボランティアな公民館活動プロジェクトで、小菅村と東京学芸大学の社会連携に協力しています。

ご興味のある方が山村の素のままの美しい暮らし sobibo や伝統文化を村人から一緒に学び、継承するプロジェクトに参加してくださると、

とてもうれしいです。

自然文化誌研究会が国内外の調査研究によって収集した民具、雑穀標本、図書、雑穀栽培見本園などを山梨県の山村小菅の暮らしと関係づけて

展示、整理、解説しています。雑穀栽培講習会、日本村塾 3 ゼミ（自給農耕、民族植物学、扶桑こく）、環境学習セミナーなども開催しています。

雑穀街道（さあ山村）を、都市から農山村に暮らし向きを求め、鎌倉街道（いざ鎌倉）と反対方向に創ることを提案しています。

現在の日常活動（原則として月曜日か金曜日）

1. 雑穀栽培見本園の管理
2. 民具展示の整理
3. 雑穀標本の整理
4. 農・林学、植物、環境、教育、人類学、およびインド・タイなど海外関係図書の整理、番号付をしています。

\*\*\*\*\*  
館長：木下善晴（小菅村在住）

自然文化誌研究会（東京都）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳、小川泰彦

ミュージーズ研究会（小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

事務局：黒澤友彦（小菅村在住） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

研究員塾生：木俣美樹男、西村俊、藤盛礼恵ほか

連絡先：木俣美樹男 [kimatami@u-gakugei.ac.jp](mailto:kimatami@u-gakugei.ac.jp)

ホームページ：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

\*\*\*\*\*